

平成18年度 伊丹市行政評価 ～事務事業評価編～

※事務事業名に【新規】の表記があるものは、H18年度から新たに開始された事業、【未実施】の表記があるものは、「これから5年間のまちづくりプラン」に位置付けがあり、H19年度以降に事業開始が予定されている事業。
 ※本記載内容は、評価表作成時点（H18年8月）のものであり、その後の状況変化などにより、公表時点において実施時期や事業費等が変更になっている場合があります。

事務事業コード

132601

あり、H19年度以降に事業開始が予定されている事業。
※本記載内容は、評価表作成時点（H18年8月）のものであり、公表時点において実施時期や事業費等が変更になっている場合があります。

事務事業名

国民健康保険医療給付等事業

担当部局・課

健康福祉部
国保年金課

事業内容

被保険者が疾病等により医療機関にて治療を受けた場合は、自己負担額を除いた医療費を国保連合会を通じ医療機関に支払う。

事業開始(予定)年度

昭和36年度

事業終了(予定)年度

—

この事業の上位施策

これから5年間のまちづくりプラン

視点

支え合いでつくる「安全・安心」のまちを実現

項目

きめ細かな地域福祉の推進

施策

医療保険・福祉医療の円滑な運営

⇒「これから5年間のまちづくりプラン」は、「第4次伊丹市総合計画」の後期5か年(H18～22年度)に計画的に取り組むべき具体的事業等を明らかにした事業実施計画です。
行政評価の実施にあたっては、各事務事業をこの計画体系に沿って整理しています。

事業の目的

国保は全国市町村において社会保障制度の一環として実施されている国の制度事業で、国民の保健の向上に寄与することを目的としている。

予算費目
(複数の費目にまたがる場合は、主な費目を表示しています。)

(款) 特別会計
(項) (事項)
(目)

事業費等の概算

平成17年度(決算)

事業費

14,030,945千円

財源内訳

国・県補助金等

4,521,600千円

市債

—

その他(使用料等)

8,205,631千円

一般財源(市税等)

1,303,714千円

投入人員

5.00人

⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次のようになります。
=担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量)

人件費

42,830千円

⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。

経費合計

14,073,775千円

平成18年度(予算)

事業費

15,246,129千円

財源内訳

国・県補助金等

4,677,005千円

市債

—

その他(使用料等)

9,293,439千円

一般財源(市税等)

1,275,685千円

投入人員

5.00人

⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次のようになります。
=担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量)

人件費

42,830千円

⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。

経費合計

15,288,959千円

活動指標

指標名(単位)

国保1人当たり医療費（千円）

意味・算式等

事業費／被保険者数

計画と実績

年度

区分

H17年度

H18年度

計画値

199

214

実績値

204

上記評価結果は、事務事業の活動状況などに関する評価に同一施策内での各事務事業の相対的な評価等を加味して総合的に評価したものです。